

## 溶出試験

### レベチラセタム錠 500mg 「日医工」

#### 溶出試験条件

装置	日本薬局方 溶出試験法 パドル法	液量	900mL	温度	37±0.5℃
----	------------------	----	-------	----	---------

#### 溶出試験結果

回転数	試験液	判定
50rpm	pH1.2	標準製剤及び本品はともに 15 分以内に平均 85%以上溶出した。
	pH4.0	f2 関数の値は 42 以上であった。
	pH6.8	標準製剤及び本品はともに 15 分以内に平均 85%以上溶出した。
	水	標準製剤及び本品はともに 15 分以内に平均 85%以上溶出した。
100rpm	pH4.0	同試験液の 50rpm の溶出試験で、30 分以内に標準製剤、本品ともに平均 85% 以上溶出したため、100rpm の溶出試験を省略した。

レベチラセタム錠 500mg 「日医工」の溶出挙動を標準製剤（錠剤，500mg）と比較した結果，上記全ての条件において「生物学的同等性試験ガイドライン」の判定基準に適合した。

